



## 2026年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月14日

上場会社名 株式会社オーケーウェブ 上場取引所 名  
 コード番号 3808 URL https://okweb.co.jp/  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉浦 元  
 問合せ先責任者(役職名) 経営管理担当執行役員 (氏名) 石川 修 (TEL) 03(6823)4306  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年6月期第3四半期の連結業績(2025年7月1日~2026年3月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期第3四半期	201	29.2	△131	—	△138	—	△139	—
2025年6月期第3四半期	156	32.3	△108	—	△142	—	△119	—

(注) 包括利益 2026年6月期第3四半期 △139百万円(—%) 2025年6月期第3四半期 △119百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期第3四半期	△2.80	—
2025年6月期第3四半期	△2.93	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年6月期第3四半期	1,798	468	23.6
2025年6月期	1,725	372	18.9

(参考) 自己資本 2026年6月期第3四半期 424百万円 2025年6月期 325百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年6月期	—	0.00	—	—	—
2026年6月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年6月期の連結業績予想(2025年7月1日~2026年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益	
	百万円	%	百万円	%
通期	270	15.0	△200	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有  
新規 1社(社名) 株式会社メディアリメイク、除外 1社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年6月期3Q	50,482,504株	2025年6月期	46,034,804株
2026年6月期3Q	86株	2025年6月期	86株
2026年6月期3Q	49,995,530株	2025年6月期3Q	40,729,104株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の営業状況は、デジタルサンクスカード「GRATICA」につきましては、マーケティングの強化及び機能改善・新機能開発に注力してまいりました。当期首よりマーケティングを再開し、リード獲得から商談、受注、カスタマーサクセスといった一連のプロセスの見直しを行ったことにより、平均顧客単価の改善が見られ、前年同期を上回る推移となりました。また、Q&Aコミュニティ「OKWAVE」の企業版となる「OKWAVE Plus」は、顧客企業のカスタマーサポート領域における課題をより改善できるよう、SaaSツールの提供に加えて、メディア効果をもたらす新たなサービスパッケージの提供を開始したことで、安定的な水準を維持することができました。生成AIが急速に普及する中、当社独自の提供価値を再定義し、収益獲得に注力してまいります。

純広告を中心とするメディアサービスは、2025年4月に受託した大型Webプロモーション業務の役務提供が主な内容となり、順調に納品、提供が進行しており、当期収益に大きく寄与しております。これらのほか、株式会社メディアリメイクの新規連結による貢献もあり、当第3四半期連結累計期間の売上高は201百万円（前年同期に比べ45百万円増）となりました。

営業損益におきましては、支払報酬や株式報酬費は前年同期比で減少したものの、人材採用による採用費及び人件費の増加や株式会社メディアリメイクの株式取得にかかる関連費用の発生等により、総コスト（売上原価と販管費の合計）は前年同期に比べ69百万円増の333百万円となりました。これは、赤字体質からの脱却のため、人材採用やM&A等の先行投資的費用を積極的に活用する方針に転じていることが主な要因です。これらの結果、営業損失は131百万円（前年同期に比べ23百万円の損失幅拡大）となりました。

営業外損益及び特別損益につきましては、特筆すべき事象は生じておりません。以上の結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は、139百万円（前年同期に比べ20百万円の損失幅拡大）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結累計期間末の総資産は、1,798百万円（前連結会計年度末に比べ72百万円増）となりました。売掛金が19百万円、新規連結によりのれんが9百万円増加したことが主な要因です。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債総額は、1,329百万円（前連結会計年度末に比べ23百万円減）となりました。これは主に、前受金が31百万円減少する一方で、未払金及び未払費用が14百万円増加したことによるものです。

#### (純資産)

当第3四半期連結累計期間末における純資産は、468百万円（前連結会計年度末に比べ96百万円増）となりました。これは主に、増資により資本金及び資本剰余金がそれぞれ118百万円増加したことと、親会社株主に帰属する四半期純損失により利益剰余金が139百万円減少したことによるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、本連結決算短信と同日に開示しました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	542,309	511,523
売掛金	16,132	35,766
前払費用	11,099	11,638
その他	10,546	59,307
貸倒引当金	-	△50
流動資産合計	580,087	618,186
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品	1,281	1,631
減価償却累計額	△1,281	△1,394
工具、器具及び備品(純額)	0	237
有形固定資産合計	0	237
無形固定資産		
ソフトウェア	2,672	1,590
のれん	73,820	83,543
その他	0	27,966
無形固定資産合計	76,492	113,100
投資その他の資産		
投資有価証券	42,937	43,744
差入保証金	712	721
長期貸付金	60,987	61,046
破産更生債権等	4,933,032	4,933,032
長期未収入金	115,789	122,250
繰延税金資産	8,245	5,246
貸倒引当金	△4,092,954	△4,099,414
投資その他の資産合計	1,068,751	1,066,627
固定資産合計	1,145,243	1,179,966
資産合計	1,725,331	1,798,152

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,414	3,993
未払金及び未払費用	220,068	234,417
未払法人税等	10,030	8,464
前受金	67,125	35,943
仮受金	1,017,058	1,017,075
その他	7,116	17,206
流動負債合計	1,324,813	1,317,101
固定負債		
長期前受金	28,000	12,320
固定負債合計	28,000	12,320
負債合計	1,352,813	1,329,421
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	150,922	269,720
資本剰余金	1,994,993	2,113,791
利益剰余金	△1,808,903	△1,948,803
自己株式	△85	△85
株主資本合計	336,927	434,623
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△9	798
為替換算調整勘定	△11,018	△11,048
その他の包括利益累計額合計	△11,027	△10,250
新株予約権	46,618	44,357
純資産合計	372,517	468,730
負債純資産合計	1,725,331	1,798,152

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2024年7月1日 至2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2025年7月1日 至2026年3月31日)
売上高	156,052	201,644
売上原価	96,274	92,155
売上総利益	59,778	109,488
販売費及び一般管理費	168,243	241,377
営業損失(△)	△108,464	△131,888
営業外収益		
受取利息	99	1,063
為替差益	-	257
未払配当金除斥益	2,725	-
雑収入	3,003	104
営業外収益合計	5,829	1,425
営業外費用		
支払手数料	2,373	-
支払報酬	36,023	7,470
為替差損	302	-
雑損失	1,201	100
営業外費用合計	39,901	7,570
経常損失(△)	△142,537	△138,032
特別利益		
新株予約権戻入益	-	2,144
和解金収入	25,500	-
特別利益合計	25,500	2,144
特別損失		
関係会社清算損失引当金繰入額	1,327	-
特別損失合計	1,327	-
税金等調整前四半期純損失(△)	△118,364	△135,888
法人税、住民税及び事業税	976	1,012
法人税等調整額	-	2,998
法人税等合計	976	4,010
四半期純損失(△)	△119,340	△139,899
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	-	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△119,340	△139,899

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
四半期純損失(△)	△119,340	△139,899
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△620	807
為替換算調整勘定	7	△30
その他の包括利益合計	△612	777
四半期包括利益	△119,952	△139,122
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△119,952	△139,122
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

### (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

#### (継続企業の前提に関する注記)

当社グループは、2020年6月期以降営業損失の状況が継続しており、2021年6月期以降については親会社株主に帰属する当期純損失を継続して計上している状況にあります。当第3四半期連結累計期間では、営業損失131,888千円、経常損失138,032千円及び親会社株主に帰属する四半期純損失139,899千円を計上しました。このような状況から継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が継続しております。

当該状況を解消するために、当社グループは、下記の通り収益構造の改善及び財務基盤の安定化に取り組んでおります。

#### ①収益構造の改善

事業成長の確実性が高い分野へリソースを再配分することで、営業損益及び営業キャッシュ・フローの向上を図ってまいります。また、引き続き不要なコストを徹底的に削減してまいります。

#### ②M&Aの実施による収益構造の改善

2024年7月に株式会社オープンサイトの全株式を取得し、2025年10月には株式会社メディアリメイクの全株式を取得しました。今後もM&Aで収益力のある企業・事業をグループ化することにより、当社グループの事業展開を加速させるとともに、営業損益及び営業キャッシュ・フローの向上を図ってまいります。

#### ③財務基盤の安定化

当社グループは、運転資金の安定的な確保と維持に向け、コスト削減の徹底と子会社の解散・清算を進めてまいりました。今後もグループ内の資金を最大限に有効活用していくべく、取引金融機関等に対しても、引き続き協力をいただくための協議を進めていくとともに、必要に応じてエクイティファイナンスの検討も行ってまいります。

このように継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる状況にありますが、当第3四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成されており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を当第3四半期連結財務諸表には反映しておりません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間において、第24回新株予約権の権利行使による新株発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ118,798千円増加しております。その結果、当第3四半期連結累計期間末において資本金が269,720千円、資本剰余金が2,113,791千円となっております。

(セグメント情報等)

- I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)  
当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。
- II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)  
当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	1,093千円	1,092千円
のれんの償却額	8,089千円	11,192千円

(重要な後発事象)

(取得による企業結合)

当社は、2026年5月14日開催の取締役会において、簡易株式交換によりJINEN株式会社を完全子会社化することについて決議しました。

(1)企業結合の概要

① 被取得企業の概要

被取得企業の名称：JINEN株式会社

事業の内容：コミュニティ形成コンサルティング事業

② 企業結合を行った主な理由

当社グループは、コミュニティを軸とした新たな収益モデルの構築を図るべく、コミュニティの設計・運営・定量評価に関する専門性の強化を重要な経営課題と認識してまいりました。JINEN株式会社は、これら経営課題に関するノウハウを有しており、当社グループの既存事業との親和性及び補完関係の構築が期待できるため、子会社化によるグループ経営の強化を図る考えです。

③ 企業結合日

2026年6月下旬

④ 企業結合の法的形式

簡易株式交換

⑤ 結合後企業の名称

変更はありません。

⑥ 取得する議決権比率

100%

(2)被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得対価 当社株式789,500株(予定)  
取得原価 対価となる当社株式数に算定基準日における当社株価を乗じた額

(3) 主要な取得関連費用の内容及び金額

現時点では確定していません。

(4) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定していません。

(5) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定していません。

※本連結決算短信と同日に開示しました「簡易株式交換によるJINEN株式会社の完全子会社化に関するお知らせ」をご参照ください。